

## (14) 目と耳による同時学習の効用

### 「漢字で学習」に理解度高まる

これまでのお話で、今まで長いこと「小学校就学前から文字教育を始めることはいけない」と考えられていた理由や、また「そういう考え方は今は全く誤りであることが証明されている」という事情が、よくわかりただけだと思います。

昭和58年現在で、私の提唱する幼児期の漢字教育の必要性をよく理解し賛同されて、漢字教育を実践して下さっている幼稚園が全国にはおよそ400園ほどあります。北は北海道から南は沖縄にまで及んでいて、その数は年ごとに増加する一方ですが、それはもちろん、以上に述べたような理由や事情が次第に教育者の間に理解され浸透していったからですが、実はそのほかに次に述べるような理由があるからです。

人間は外界の事物を五官を通して取り入れ、これを知識として大脳に蓄えています。ところがアメリカのある学者の実験調査によりますと、五官の中でも視覚による知識が圧倒的に多くて、全体量の実に83%に及んでいる、ということです。次が聴覚による知識でこれが11%。ですから他の三つの器官によるものは合計しても6%にしかありません。

また、「百聞は一見に如(し)かず」と言われているように、同じ内容の事柄を耳だけで学習したのと、目だけで学習したのと比較してみますと、目で学習したものの方が確実に忘れにくい、ということもこのアメ

リカの学者の実験調査でわかりました。

さらにおもしろいことには、目と耳と両方の器官を同時に使って学習すると、耳だけの学習効果を1とした場合、目だけの学習効果がその2倍であるのに対して、目と耳との同時学習は何と6.5倍の学習効果がある、とその効果を測定していることです。

いま、普通の幼稚園では、「手を洗う」という生活指導の場合、これを子どもの耳に訴えて指導しているだけですが、これを黒板に「手を洗う」と書き、これを子どもの目に訴えながら、同時に耳からも訴えてやりますと、耳だけの学習に比べて、子どもの理解吸収の度合いが比較にならないほど高まるのです。

だから「漢字教育をするようになってからは、子どもたちの理解度が驚くほど良くなり、とても指導しやすくなった」と、どの実践幼稚園でも口をそろえて言明していますが、それは子どもたちが目と耳との二つの器官を同時に働かしていることの当然の結果だだと思います(先のアメリカの学者の言う通りだとすれば、六倍半の学習効果が得られるのですから……)。

ともあれ、このように、漢字教育を始めますと、たちまちのうちに、実にはっきりとした違いが子どもたちの上に現われて来るものですから、一度この教育に足を踏み入れた幼稚園は、決してこの教育を棄てることをしないのです。そういうわけで、年ごとに漢字教育の実践幼稚園が増加しているのです。